

用語等の解説

返還ガラス固化体

- ・原子力発電所で生じた使用済燃料の再処理により発生する、高レベル放射性廃棄物を、長期間、極めて安定した性質を持つガラスと一緒に混ぜ合わせ、さらにキャニスターと呼ばれるステンレス製の容器に封入し、保管できる状態としたものを、ガラス固化体という。
- ・日本の電力会社は、原子力発電所で発生した使用済燃料の一部の再処理を、仏国と英国の再処理事業者に委託している。再処理に伴い発生したガラス固化体は日本に返還される契約であり、仏国と英国から日本原燃（六ヶ所村）の高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターへ輸送されるガラス固化体のことを、返還ガラス固化体という。

輸送容器

- ・海外から返還されるガラス固化体を輸送するための、非常に頑丈な構造の専用の輸送容器で、放射性物質の閉じ込め、放射線の遮へい及び熱を除去する能力を有している。

載貨重量

- ・船が積み込むことのできる貨物の重量を示すもの。

以上